

平成30年9月27日

～届け！若者からのメッセージ～

若年啓発グループが選挙啓発グッズを作成！

墨田区では、選挙啓発活動の一環として若年啓発グループが選挙啓発グッズ(絆創膏)を作成した。これは、平成28年7月の参議院議員選挙において18歳選挙権が適用されたことに伴い、若年層への選挙啓発が必要になった背景から平成29年に若年啓発グループが立ち上げられ、その検討会の中で作成する案が生まれたもの。今回の選挙啓発グッズ作成は、平成29年の「ふりかけ」に続く2作目となる。

6月に行われた検討会では、18歳から27歳の9名(男5名・女4名)が集まり、選挙啓発における課題をメンバー間で共有した。はじめに「若者が選挙に行かないと、若者が損をする」といった観点から、区職員が講義を行い、その後“どうして若者は選挙に行かないの？”というテーマで、若者自身の目線から意見を出し合った。その結果、今回のグッズのテーマを「若者に、選挙に関心を持ってもらう」事とし、啓発グッズを選ぶ際の指針とした。最終的に、ポケットティッシュよりも手元に残りやすく、何度もメッセージを見てもらえるという点から「絆創膏」が選定された。

パッケージは、「キャッチコピーは問いかける形式が効果的」「若者の投票率の低さをグラフで伝えたい」など、全員のアイデアを取り入れ、イラストが得意なメンバーが仕上げた。キャッチコピーは「選挙権、捨てちゃって大丈夫？～友達さそって選挙にいこう！」と、メンバーと同世代の若い有権者へのメッセージを表している。検討会に参加した若年啓発グループの武田空弥(たけだ たかや)さんは「僕ら若者が実際に啓発活動をすることで区の投票率が上がることに繋がって欲しいです。若者の投票率の低さが課題になっている中で、こういう啓発活動がきっかけで選挙の重要性を知り、選挙に行ってみようかなという気持ちになってくれたら嬉しいです。」と話している。

今後、啓発グッズは10月6日(土)・7日(日)に錦糸公園(錦糸4-15-1)で行われる第43回すみだまつり・第48回こどもまつりにて来場者に配布される予定。



<若年啓発グループについて>

平成 28 年 7 月の参院選で初めて国政選挙において 18 歳選挙権が適用されたが、それと同時に常時啓発に新しい難題が降りかかった。「投票率向上」という啓発の効果が見えづらい課題に、「若年層の」というワードが加わったことで益々難しくなった。これまで連綿と続いてきた啓発スタイルを刷新する必要性について、墨田区選挙管理委員会事務局内で何度も検討を重ね、その議論の中から、18 歳選挙権という一大ムーブメントの熱気を一過性のもので終わらせず、その熱量を今後に伝えうる存在として若年グループの立ち上げ案が生まれた。